

平成 17 (2005) 年 5 月 5 日

日本英学史学会 中国・四国支部

ニュースレター

No.42

平成 17 年度 中国・四国支部総会 及び

第 1 回 (通算 52 回) 支部研究例会のご案内

拝啓 新緑の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当支部の発展のために暖かいご支援とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、平成 17 年度支部総会、及び第 1 回 (通算第 52 回) 支部研究例会を下記の要領で開催いたします。今回は松岡博信理事にご尽力頂き、安田女子大学を会場としてお借りすることができました。松岡理事をはじめ、会場校ならびに関係の皆様に対し、厚くお礼申し上げます。

研究例会では小篠敏明先生によるご講演、松村幹男先生、鉄森令子先生による研究発表が予定されています。公務などでご多忙の中とは存じますが、会員の皆様にはぜひご参集いただきますようご案内申し上げます。

末筆ながら、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

敬具

日本英学史学会中国・四国支部事務局

記

日 時： 平成 17 年 5 月 28 日 (土) 午後 1 時より (12 時 30 分より受付開始)
場 所： 安田女子大学 (広島市安佐南区安東 6 丁目 13-1 TEL(082)878-8111(代))
7 号館 7405 教室

受付 (12:30 -)

平成 17 年度支部総会 (13:00-13:30)

- (1)平成 16 年度活動報告・決算報告
- (2)平成 17 年度役員改選について
- (3)平成 17 年度活動計画について

平成 17 年度第 1 回 (通算第 52 回) 支部研究例会 (13:40-17:00)

- ・開会行事 (13:40-13:50)
- ・研究発表 (13:50-15:30)
 1. 「竹原常太の総合基本語彙表」(鉄森令子氏)
 2. 「永原敏夫の英語教育研究」(松村幹男氏)
- ・講演 (15:50-16:50)

「日本の英語教育—来し方行く末—」(小篠敏明氏)
- ・閉会行事 (16:50-17:00)

・懇親会 (18:30-)

JR 広島駅近くの会場にて。会費 4,000 円程度。

例会会場へのアクセス（以下、安田女子大学ホームページ <http://www.yasuda-u.ac.jp/> より引用）

アクセスマップ



交通案内

1) JR 山陽本線等から

JR 広島駅や JR 横川駅より JR 可部線を利用して、JR 大町駅でアストラムライン（広域公園方面行）に乗り換える。大町駅より2 駅目のアストラムライン「安東」駅（約3分）で下車、徒歩5分。

2) 広島市内中心部から

アストラムライン「本通」駅や「県庁前」駅より、広域公園方面行で12 駅目（県庁駅からは11 駅目）のアストラムライン「安東」 駅で下車、徒歩5分。

3) 高速バス利用

中筋駅乗り換え

鳥取県「米子駅」、島根県「松江駅」「浜田駅」「大田・江津方面」、山口県「徳山駅」、広島県「福山駅」「尾道駅」「三次バ スセンター」「庄原バスセンター」方面より高速バスを利用して「中筋駅」で下車。アストラムライン「中筋」駅より広域公園方面 行に乗り、4 駅目の「安東」駅（約7分）で下車、徒歩5分。

大塚駅乗り換え

島根県「松江駅」「出雲市駅」「浜田駅」、広島県「三次バスセンター」「庄原バスセンター」方面より高速バスを利用して「大 塚駅」で下車。アストラムライン「大塚」駅より本通方面行に乗り、7 駅目の「安東」駅（約12分）で下車、徒歩5分。

平成 16 年度第 3 回役員会報告

3月26日(土)午後2時より4時まで、支部役員会が開催されました。出席者は13名。新年度の役員や活動計画、さらに支部の活性化を巡り活発な議論が交わされました。議題および協議内容は以下の通りです。

(1) 新役員の選出について

小篠現支部長の任期満了に伴い、新支部長として竹中龍範氏を満場一致で選出しました。他の役員人事については、新支部長に一任とし、次回役員会ではかることとなりました。

(2) 新年度の行事計画について(案)

(平成 17 年)

- 4月 ・ニューズレターNo.42 発行
- 5月28日 ・第1回役員会および支部総会
 - ・第1回(通算52回)研究例会
 - ・『英学史論叢』第8号発行
- 7月 ・ニューズレターNo.43 発行
- 10月 ・全国大会(22日~24日 福岡大学)
 - ・ニューズレターNo.44 発行
- 12月3日 ・第2回役員会
 - ・第2回(通算53回)研究例会

(平成 18 年)

- 1月 ・ニューズレターNo.45 発行
- 役員会は5月と12月の例会時に開催。従来の年度末(3月)の役員会は開催しない方向で検討することとなりました。なお、役員会の開催のあり方や召集メンバー等について、新支部長を中心に検討を行うこととなりました。

(3) 平成 17 年度第 1 回(通算 52 回)研究例会について

- ・日程は5月28日(土)に決まりました。
- ・会場は安田女子大学を候補とし、松岡理事にお世話をお願いすることになりました。

(4) 支部の活性化について・その他

- ・2007年度に支部発足30周年を迎えます。記念行事や記念誌について、そろそろ準備を始める時期に来ているのではないかとの提言がありました。
 - ・未完の『広島英学史事典』について、支部の課題として取り組んではどうか、という意見が出されました。
- 次回の役員会は、5月28日(土)の研究例会当日、午前10時より12時まで、安田女子大学で開催される予定です。

日本英学史学会報 No.106 発行

日本英学史学会報 No.106 が発行されました(2005年5月1日、10ページ)。内容は、[史に聴けば] (8)「ひとりの葡学人」(佐光昭二)、[英学史散策]「英学史における堀達之助と堀孝之」(堀孝彦)、「大英図書館蔵『英和对訳袖珍辞書』初版との対面：外山正一の漢字署名を発見！」(遠藤智夫)、[400回記念本部例会開催報告] ほか。

元会長・速川和男先生の「英学史フォーラム」では、学会の運営に関する提言も。「年次大会は学会の存在意義を知ってもらうチャンスであるが、開催地の決定と該当地のご苦勞は大変なもの」「発表者不足の場合には委員がいつでも代打に立つという不文法を再確認」「発表者は先行研究をふまえて未開拓の分野を開拓する努力を」「司会者は発表者に肉薄するくらいの準備を」などなど、支部運営に対しても示唆的。

日本英学史学会第 42 回全国大会

今年度の全国大会は10月22日(土)~10月24日(月)福岡大学文系センター(福岡市城南区七隈19-1)を会場として行われます。プログラムの概要は次の通りです。

-
- 第1日(10月22日・土)13:30 開会
 - ・特別講演「九州の英学」(田中啓介氏)
 - ・シンポジウム「漱石と九州」(原武哲氏ほか)
 - ・懇親会(福岡大学文系センター16F スカイラウンジを予定)
 - 第2日(10月23日・日)
 - ・研究発表(午前・午後)
 - 第3日(10月24日・月)
 - ・英学資料展 九州大学図書館「筑紫文庫」閲覧
-

全国大会へのご参加および日本英学史学会(本部)への入会に関するお問い合わせは支部事務局まで、ご遠慮なくどうぞ。

日本英学史学会(本部)の会員登録は、中国・四国支部への入会とは別に手続きが必要です(入会金2,000円、年会費5,000円)。

中国・四国支部事務局より

例会の出欠確認についてお願い

5月28日(土)の研究例会および懇親会の出欠につきまして、5月21日(土)までにメール(もしくは同封の用紙にてファックス、または郵送)にてご回答くださいますようお願いいたします。役員の皆様は、例会当日午前の役員会のご出欠も合わせてお知らせください。なお、非会員の方も参加費無料ですので、皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

会費納入のお願い

同封の振込み用紙(郵便振替)により、平成17年度分の年会費として、一般会員は3,000円、学生会員(院生を含む)は2,000円をご納入ください。昨年度未納の方は2年分お振込みくださいますようお願い申し上げます。

(口座番号)	01360-9-43877
(加入者名称)	日本英学史学会広島支部

なお、年会費は研究例会当日も受け付けておりますので、例会受付までお願いいたします。

昨年度の新入会員のご紹介

平成16年度に入会された方々をご紹介します。
(50音順・敬称略)

金田道和(広島)、栗栖英雄(広島)
佐光昭二(徳島)、那須恒夫(高知)
村端五郎(高知)

研究発表者を募集します

今年度第2回研究例会(12月3日(土)広島県以外の中四国地方で開催の予定)の発表者を募集します。研究発表(口頭発表30分・質疑応答20分・計50分)をご希望の方は、9月末までに事務局へご連絡ください。特に若い会員の皆様の積極的なご発表をお願いいたします。

ニュースレター原稿募集!

英学史にまつわる「エッセイ」「研究メモ」「読書ノート」などの原稿をお寄せください。いずれも400~800字程度。電子メールまたはワープロ印字原稿を事務局までお送りください。次号以降のニュースレターに掲載させていただきます。

英学史研究の「裾野」を広げるため、多数の皆様のご協力をお願い申し上げます。

住所録の確認について

ニュースレターNo.41に同封いたしました支部会員名簿に変更がございましたら事務局までお知らせください。特に年度変わりの異動等がございましたらご一報ください。

個人情報の取り扱いには神経を使う時代になりました。学会名簿も例外ではありません。取り扱いにつきましては格段のご配慮をお願い申し上げますとともに、お気づきの点等ございましたら、ご遠慮なく事務局までお知らせください。

<<広島英学史の周辺(8)>>

広島高等師範学校附属中学校を前身とする広島大学附属中・高等学校『創立百年史』が刊行されました。全3巻(上巻・下巻・別巻)約2,000ページ。日本一の学校史を作るべく、渾身の力で上下巻1,500ページを書き下ろされた恩師・小山清先生のお仕事に対し、心から敬意を表したいと思えます。私を英学の世界へ誘ってくれた母校の百年史に、口和町で発見された教授授業案下書(明治44年)の写真を提供できたのは、望外の喜びでした。山田雄一郎『日本の英語教育』(岩波新書,2005)は、「日本の英語教育を振り返り、現状を分析し、未来への手がかりをもとめること(まえがき)」を目的とする新書です。「歴史的な視点を活用」と述べている通り、福澤をはじめとする明治の日本のリーダーたちの英学、英語存廃論、明治の小学校英語など、私たちに馴染みのある話題への言及もあります。英語教育を冷静に眺めるための視点が随所に溢れる好著だと思います。東京・神保町でよく立ち寄るのは「日本書房」という古書店。先月出会った英学関係の書は、岡倉由三郎『英語発音学大綱』(三省堂,1906)でした。拾い読みの最中に「目からウロコ」の表記に多数出会います。有声音と無声音のことは「こえ(voice)」と「いき(breath)」、consonantは子音ではなくて「父音」。この分野に詳しい方々には常識的なことでも、私にとっては嬉しい新発見が続きます。巻末には左ページに英文テキスト、右ページにはテキストに対応した発音記号のみの表記。パーマーの*Standard English Readers*を思い出しました。半年ぶりの例会。広島でお会いできることを楽しみにしています。(馬)

日本英学史学会 中国・四国支部ニュースレター No.42

2005年5月5日発行
発行 日本英学史学会中国・四国支部(代表 小篠敏明)
事務局 〒727-0023 広島県庄原市七塚町562
県立広島大学 馬本研究室内
電話&FAX: (0824) 74-1725(直通)
e-mail: umamoto@pu-hiroshima.ac.jp(新アドレス)
ホームページ: http://tom.edisc.jp/eigaku/ (新URL)